

安心・共生の21世紀を！



石川さわ子

札幌市議会議員・市民ネットワーク北海道 **北区**



# 石川さわ子

議会レポート

## ごあいさつ

年が明け、2021年となりました。新型コロナウイルス感染症対策は予断を許さない状況です。安心な市民生活のため、高齢者、子ども、障がいのある方等のお声が政策に反映されなければなりません。身近な課題を解決するため、さらに議会活動に取り組んでいきます。

石川さわ子

2021年 春号 発行：札幌市議会 市民ネットワーク北海道 ◆ホームページ <https://snet21.jp/>  
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4F TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113

## 笑顔あふれるまち札幌・北区をつくりまします

### 石川さわ子 プロフィール

1958年 旭川市生まれ  
77年 北海道旭川東高等学校卒業  
80年 北海道教育大学札幌分校養護教員課程中退  
2011年 札幌市議会議員に初当選  
11～19年 札幌市議会市民ネットワーク北海道幹事長・政審会長、札幌市議会厚生委員・文教委員等を歴任

[現在] 3期目、札幌市議会経済観光委員、総合交通政策調査特別委員、認定NPO法人カラカネイトンボを守る会顧問、子どもの未来を守る市民の会代表

### 議会活動の報告

- ◆2020年第3回定例会市議会(9/23～11/2)  
石川さわ子が代表質問。コロナ禍において市民の声を市政に反映するための情報共有、アイヌ文化交流センターの魅力アップについて等。
  - ◆第4回定例会市議会(11/27～12/10)  
北区の「札幌サンプラザ」内への保健所の事務室設置、家計が急変したひとり親世帯への5万円の臨時特別支援金、高齢者施設等の職員・入所者の自主的PCR検査費用の補助等を追加補正。
  - ◆第5回臨時市議会(12/14～15)、第6回臨時市議会(12/23～25)、2021年第1回臨時市議会(1/15) コロナ対策として集中対策期間の再延長に伴うすすきの地区等の飲食店等の営業時間短縮への協力支援金や定期的なPCR検査費用の負担、宿泊事業者の感染対策支援等を追加補正。
- コロナ対策規模は計3,996億円(2020年4月～12月)。  
財源の一部の財政調整基金は230億円から147億円に減少。
  - ご意見・ご要望をお聞きかせください。



本会議場で代表質問に立つ石川さわ子

## 高齢になっても障がいがあっても 住み慣れた地域で暮らしたい

— 2020年第3回 定例会市議会の代表質問から抜粋 —

● まちづくりセンターの活用を

札幌市の2019年インターネットアンケートでは約8割の方がセンターの仕事内容を知らず、利用したこともないという残念な結果でした。コロナ禍にあつて、センターが地域の中で相談等に対応する身近な行政窓口として認知され、また、地域の中のコーディネーター役として力を発揮するための取り組みを伺う。

答弁

区のホームページや広報誌などを通じて、まちづくりセンターの役割や地域活動との関わり等を分かりやすく周知PRするなど市民にとって身近で頼りになる存在となるよう努めていく。

質問

## 2021年度予算要望「こんな札幌に暮らしたい」を秋元市長に提出

● ひとり親家庭への支援の拡充などコロナ感染症対策に向けた重点項目の他、子育て支援や若者の就労支援、高齢者の配食サービス等の拡充、安心・安全なユニバーサルデザインのまちづくりを当事者とともにすすめること等を358項目の政策提案を市民とともに提出しました。



(11/27、市長会議室)

060-0041

切手はカンパでお願いいたします

▼切り取り、郵送にてご意見をお聞かせください。

札幌市議会議員  
市民ネットワーク北海道

石川さわ子 行き

札幌市中央区大通東2丁目15-1  
サラサビル4F